

産総研イノベーションスクール

若手研究人材育成事業

2026年度「研究基礎力育成コース（DCコース）」

公募説明会

説明中はミュートにしてください。

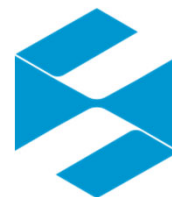
質問のある方は、**チャット**に入力するか、説明終了後に**手を挙げて**ください。

国立研究開発法人産業技術総合研究所
イノベーション人材部 若手研究人材育成事務局

特定国立研究開発法人



文部科学省



経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

MISSION

社会課題の解決と 我が国の産業競争力強化



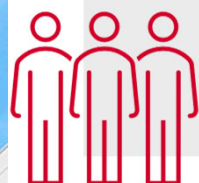
エネルギー・
環境・資源制約
への対応



人口減少・高齢化
社会への対応



レジリエントな
社会の実現



12,322 名 が研究開発活動を実施

研究職 2,287 名

事務職 691 名

技術職 45 名

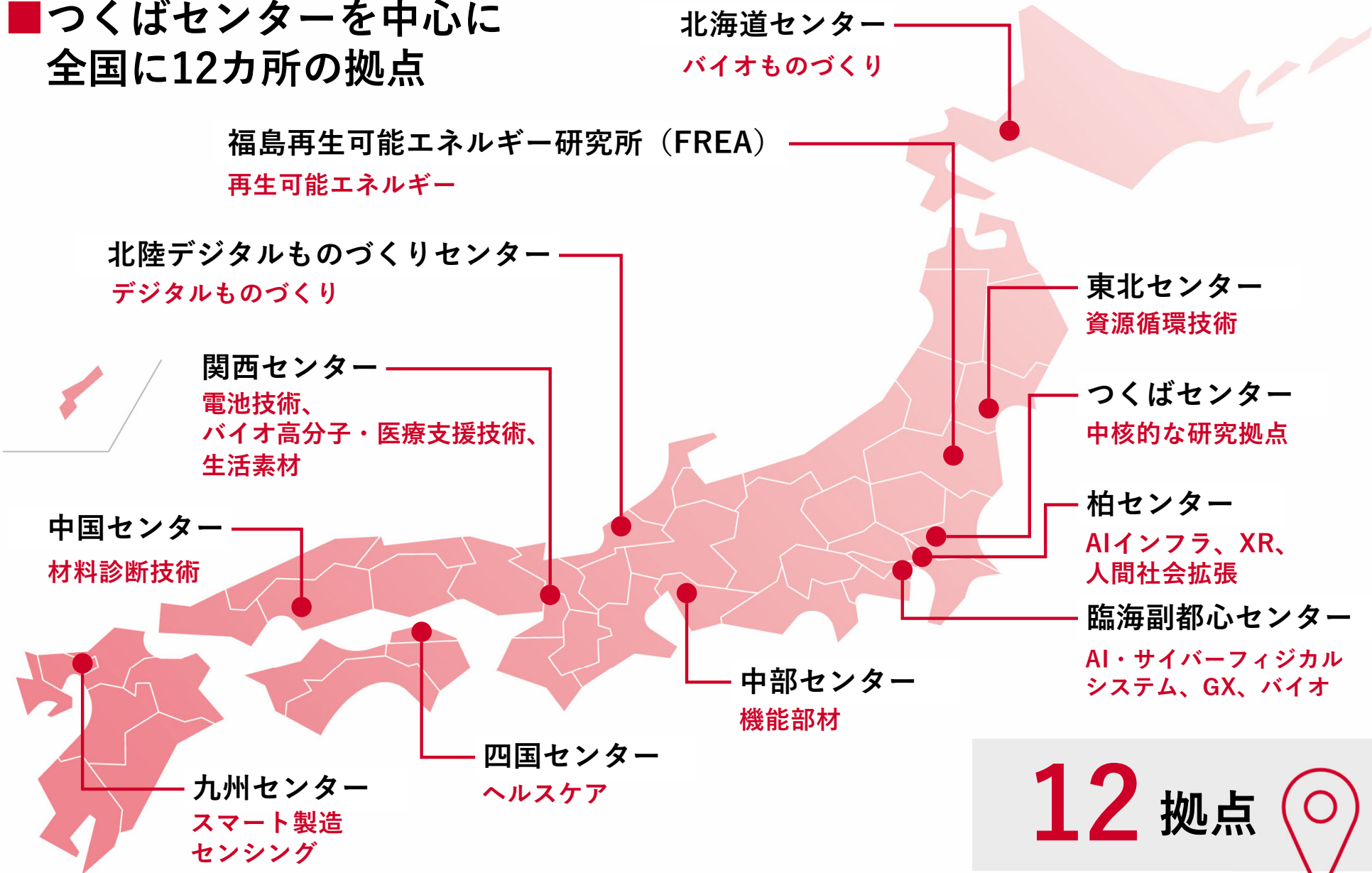
契約職員（ポスドク、テクニカルスタッフ等） 3,217 名

その他（産学官・国際制度来所者等、役員、顧問、参与および特定フェロー） 5,896 名

AIST Solutions社員  186 名

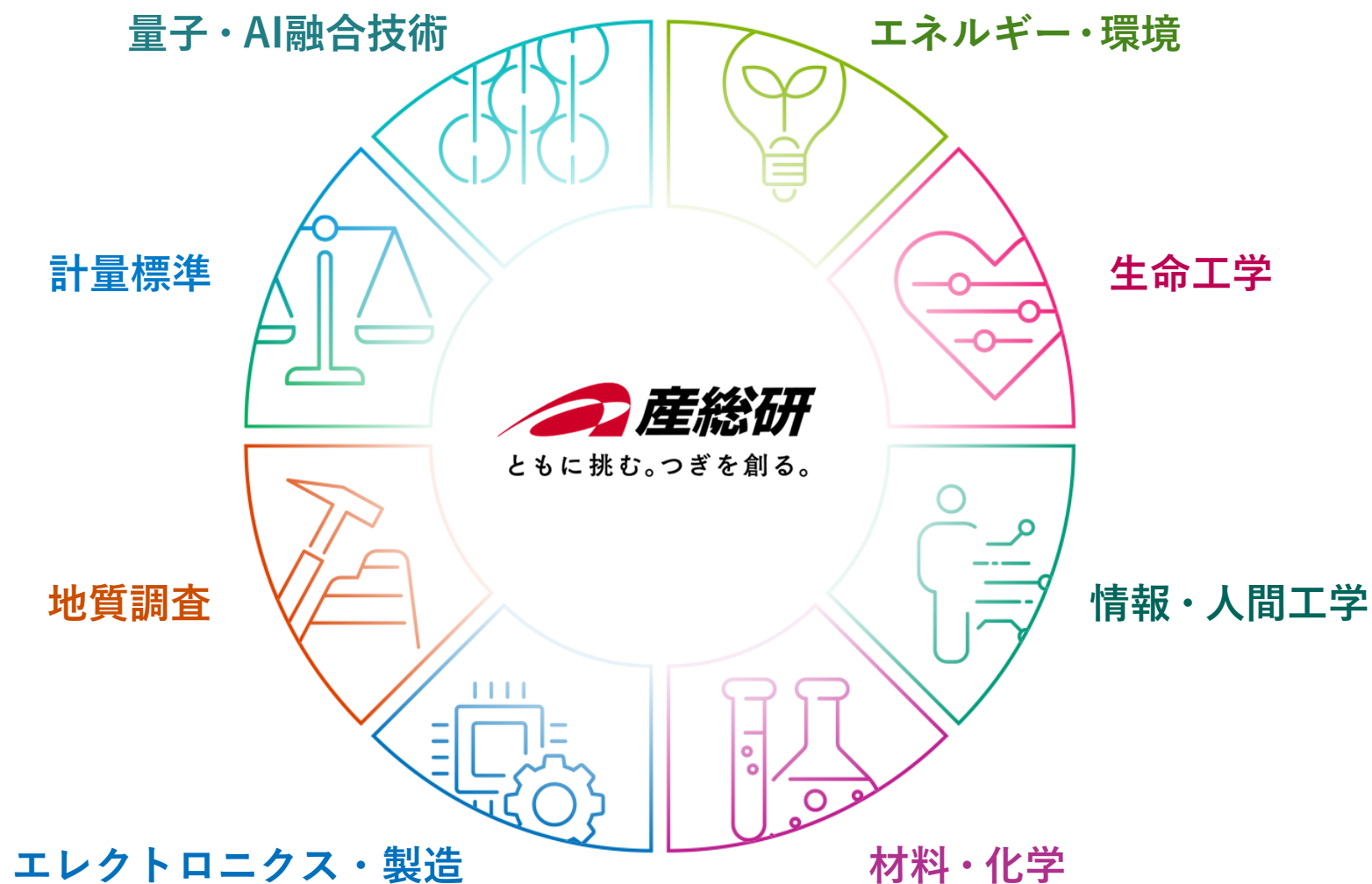
※2025年3月末時点。ただし、産学官・国際制度来所者等については2024年度の実績

■つくばセンターを中心に 全国に12カ所の拠点



12 拠点 

■ 多様な研究分野



- ・産総研の若手研究人材育成事業（産業技術人材の育成：産総研第5号業務）として2008年度より実施、**2026年度で20期目**
- ・博士人材（ポスドク）や**学部4年生・大学院生**を対象に、様々な社会課題に挑戦しイノベーションを創出する能力を持つ研究人材を育成するためのコースを開講

ミッション Why（なぜ）

社会が抱える複雑な課題を解決するため、従来の延長線上にはない新たな価値創出——すなわち**イノベーション**がこれまで以上に求められている。

ビジョン What（何を）

その実現には、多様な視点を統合し、新しい発想を生み出す力を持つ**“イノベーション人材”**が不可欠である。

バリュー How（どのように）

そこで、研究力だけでなく、連携力・人間力といった能力を体系的に育成し、イノベーションを起こしうる人材を育てる。

イノベーション人材育成コース（PDコース）

ポスドク向け

期間：1年（4月～翌年3月）

待遇：産総研特別研究員（ポスドク）として雇用、研究費支給

内容：講義・演習 + 産総研での研究 + 企業研修

例年
秋に公募

研究基礎力育成コース（DCコース）

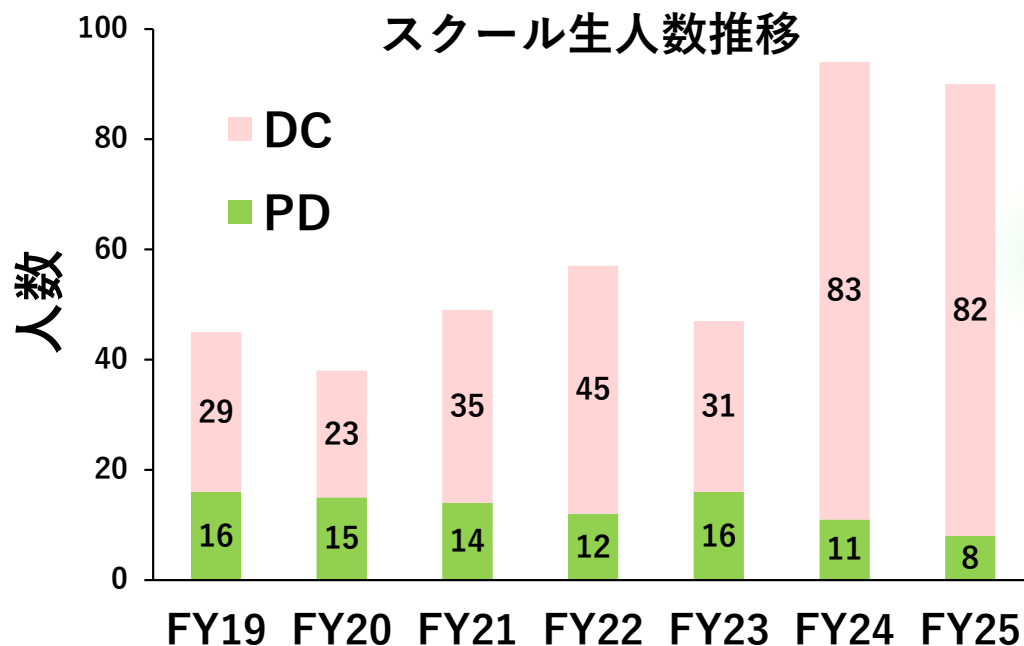
学部4年生・大学院生向け

期間：6ヶ月（10月～翌年3月）

待遇：産総研の技術研修員として受け入れ（参加費無料）、旅費支給

内容：講義・演習（オンライン） + 産総研での研究（希望者のみ）

例年
初夏に公募



19期（2025年度）までに
累計900名以上を育成



同窓会で縦のつながりも

専門領域での
高度な科学的・
技術的知見

研究力・連携力・人間力の向上

産総研・企業（PDコースのみ）での研究開発の実践

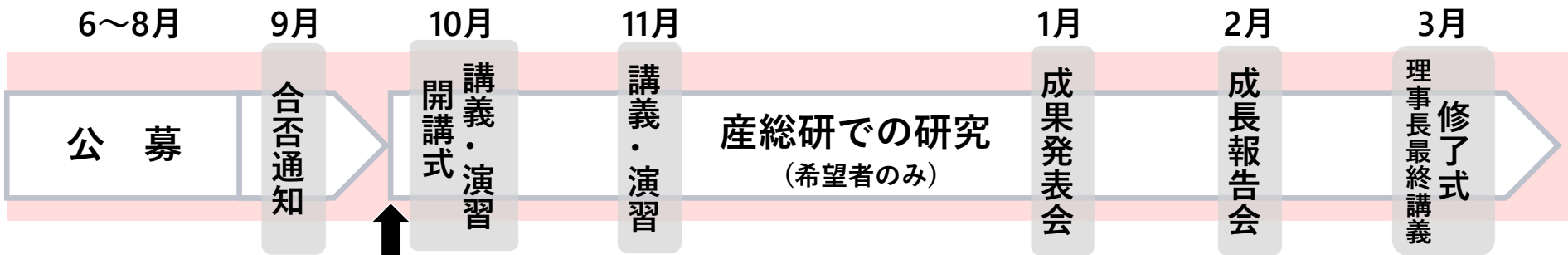
産業界・社会の理解促進と視野の拡大

分野・地域・所属を超えた人的ネットワーク形成

研究人材として必要とされる汎用的な能力を育成

企業・アカデミアをはじめ、社会の多様な場で
活躍できるイノベーション人材へ

10月からの半年間のコース



産総研技術
研修員として
受け入れ

講義・演習 (全10日)



オンライン受講
⇒受講レポート提出

産総研での研究
(希望者のみ)



- ・成果発表会
- ・成長報告会

自立した研究人材へ



ほか、オンライン交流イベントなど

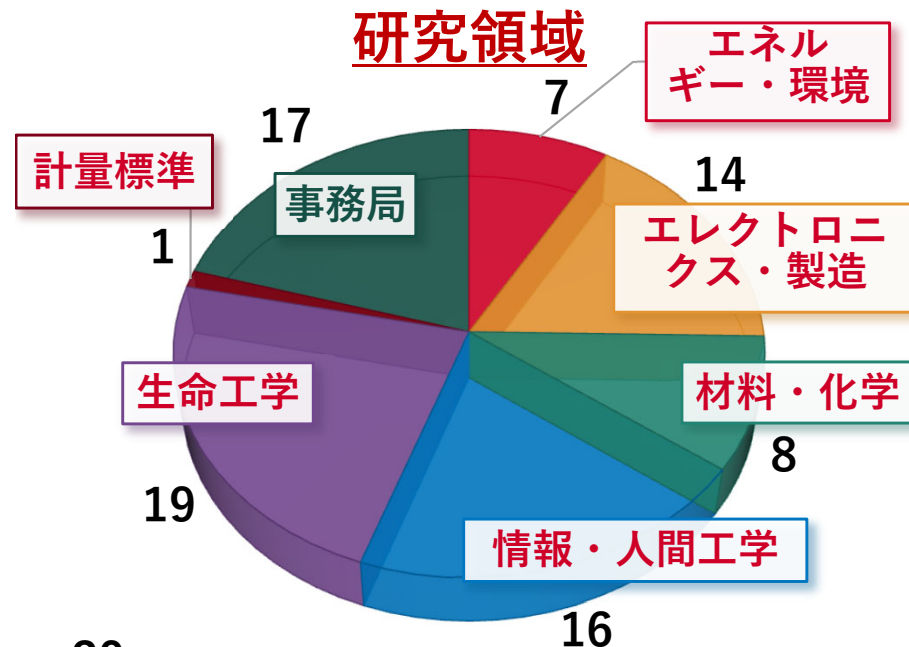
2025年度のDCコース採用実績（計82名）

全国計38大学から参加

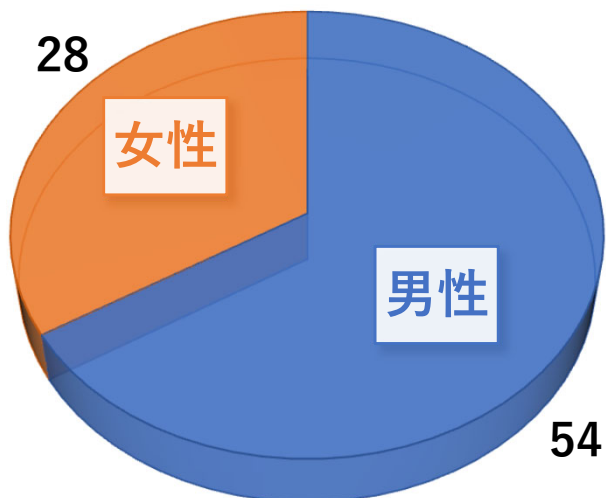
所属大学

千葉工業大学	14名	お茶の水女子大	2名
筑波大学	12名	大阪大学	2名
東京理科大学	7名	神戸大学	2名
千葉大学	4名	広島大学	2名
東京電機大学	3名	明治大学	2名
室蘭工業大学	2名	日本大学	2名
東北大学	2名	東京都市大学	2名
宇都宮大学	2名		

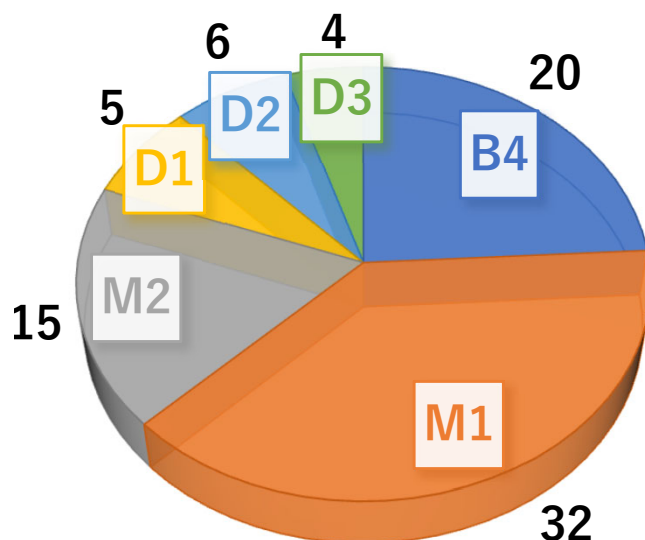
研究領域



性別

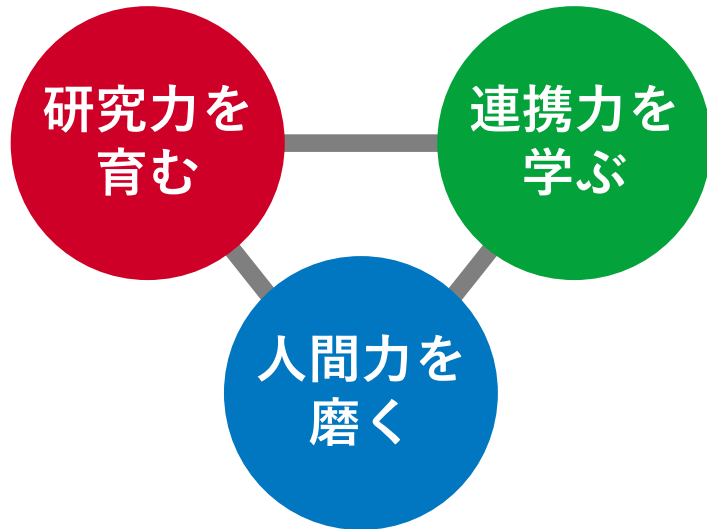


学年



「研究力」、「連携力」、「人間力」の3つの力を醸成する講義・演習

3つの力を学び育てる



日程：2026/10/19～23、11/16～20
24コマ程度（原則オンライン）

トランスファラブルスキル養成のためのカリキュラム



希望分野の産総研研究者の指導の下、所内ファシリティを活用して研究を実践

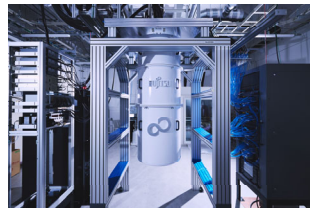
最長
6ヶ月



G-QuAT

つくば中央

量子コンピュータと
スーパーコンピュータの
ハイブリッド化



SCR

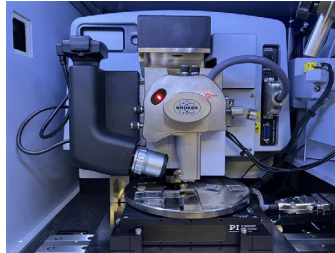
つくば西

国内公的研究機関では
最大規模の
スーパークリーンルーム



MPI

中国センター



導入例 ナノスケール赤外顕微鏡
(AFM-IR)：世界最高の空間分解能
で構造解析可能な装置

中部センター



セラミックス・合金拠点

導入例 噴霧凍結造粒装置：
国内に一台しかない造粒装置

つくば中央



先進触媒拠点

導入例 多数の並列フロー反応器を
備えた活性評価装置

バイオものづくり拠点

つくば中央



バイオものづくり
オープンイノベーション拠点

北海道センター



バイオリソース
解析プラットフォーム

FREA

福島再生可能
エネルギー研究所

再生可能エネルギーに
特化した研究拠点



蓄電池研究拠点

関西センター



電池産業基盤の強化に
向けた研究拠点

ABC1

柏センター



AI技術開発に特化した
スーパーコンピュータ



**SAT
テクノロジー・ショーケース
2026**

異分野交流による知の触発
in つくば
最新研究・技術のフリーマーケット

2026年
1月22日

つくば国際会議場
入場 どなたでも自由に
無料 参加できます

特別シンポジウム
「未来」を描くマテリアル
—身近なものから〇〇まで—

主催：産業技術総合研究所
産総研

ホスター発表 9:15-18:00
つくばは産業技術での研究発表を奨励でき5150円/発表のホスター発表

インデクシング (1分間のホスター発表説明) 9:20-12:30

ホスター発表コアタイム 13:00-15:50

「テクノロジーショーケース」はつくばをはじめ官庁などでは活躍する研究者・技術者が、最新の研究成果、アイデア、技術を持ち寄り、相互に刺激する異分野交流の場です。

特別シンポジウム 16:00-18:00
「未来」を描くマテリアル —身近なものから〇〇まで—
【第1部】 特別講演
発表 産業技術総合研究所 出村 雅彦
最新材料が拓く産業の「未来」
産業技術総合研究所 出村 雅彦
DX手法が拓く材料開発の「未来」
産業技術総合研究所 出村 雅彦
真実を導く拓くセルフケア時代の「未来」
産業技術総合研究所 出村 雅彦
シルクが拓く新素材の「未来」
産業技術総合研究所 出村 雅彦
新素材が拓く航空・宇宙開発の「未来」
産業技術総合研究所 出村 雅彦

【第2部】 パネル対談
コーディネーター 出村 雅彦
出村 雅彦、織田 博子、亀田 信徳、半野 義典

主催：つくばサイエンス・アカデミー (一般財団法人産業技術総合研究所)
企画：講義「SATテクノロジー・ショーケース2026実行委員会」協力機関：国立研究開発法人産業技術総合研究所
共催：茨城県、茨城県教育委員会、つくば市、つくば市内国立研究開発法人等23団体 後援：文部科学省、経済産業省、環境省等20団体

つくばサイエンス・アカデミー事務局 つくば市竹園 2-20-3 つくば国際会議場内
029-861-1206

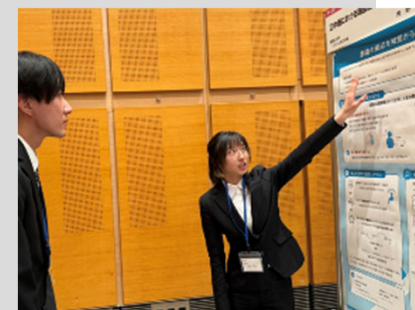
SATテクノロジー・ショーケース

つくばサイエンス・アカデミー (江崎玲於奈会長) が主催する異分野交流会

参加者
PD・DC両コースのスクール生が合同で参加

参加目的
プレゼンテーション能力と異分野
コミュニケーション能力の向上

会場
つくば国際会議場



2025年度の参加者82名 (PD:5, DC:77)
うち4名がプレゼンテーション賞受賞

- ・ベストアイデア賞新分野開拓賞
- ・ベストアイデア賞
- ・ベスト異分野交流賞
- ・学生奨励賞

2026年3月11日 第19期 (2025年度) 理事長最終講義・修了式 (産総研つくば中央とオンラインのハイブリッド形式)

PDコースのスクール生は現地参加

DCコースからもスクール生代表・レポート賞受賞者ら数名が現地参加



石村和彦理事長による
最終講義



2025年度修了式での記念写真

「日本の製造業の課題と産総研の
目指すオープンイノベーション」

応募条件

- ・ 修士・博士課程の大学院生（6年制大学の5・6年生含む）及び大学院進学予定の学部4年生
過去に本コースに入校した方は対象外となります
- ・ オンライン講義に対応可能な通信環境を自身で準備できること
- ・ 日本語で実施される講義・演習に対応できること
英語翻訳字幕付き配信システム（Zoom等）を利用予定ですが、十分に対応できない可能性があります。
- ・ 原則として全ての講義・演習、行事に参加できること
（やむを得ない事情で参加できない場合は事前に届出のこと。講義・演習は後日オンデマンドで受講のこと）
- ・ 講義・演習の受講レポートを提出できること
修了には受講レポートの提出が必要です。提出されたレポート等は、スクール運営のため講師及び産総研の関係者が閲覧・利用します。
- ・ 応募書類・個人情報の取り扱い方針に同意できること
- ・ 本事業の記録、広報、運営を目的とした写真・動画の撮影・利用方針に同意できること

参加費・研究費

- ・ **参加費無料**
- ・ **研究費支給あり**

1. 応募に際し提出いただく書類及び個人情報については、審査及び本事業の運営に必要な範囲で利用し、応募者の同意なく他の目的には利用しません。
2. 提出いただいた応募書類は返却いたしません。
3. 審査終了後、合格者の応募書類を除く全ての応募書類について責任を持って破棄いたします。

1. 本事業では、記録や広報（産総研公式ウェブサイト・SNS・ニュースレター等）、運営を目的に、写真・動画の撮影・利用を行います。
2. 個人を識別できない写真・動画（講義室後方からの写真等）については、事前のお声がけなく撮影・利用いたします。
3. 個人を識別可能な写真・動画（集合写真等）については、原則として事前にお声がけの上撮影します。個人を識別可能な写真・動画の撮影・利用を希望されない場合は、事務局にお申し出いただき、被写体とならないよう対応いただきます。

2026年度のDCコーススケジュール（予定）



現時点での予定です。諸事情により変更の可能性があります。

2026年10月19～23日	開講式 第1回講義・演習（オンライン）
2026年11月16～20日	第2回講義・演習（オンライン）
2027年1月下旬 （PDコースと合同）	外部発表会： SATテクノロジーショーケース （つくば国際会議場）
2027年2月上旬 （PDコースと合同）	成長報告会（オンライン）
2027年3月上旬 （PDコースと合同）	理事長最終講義（ハイブリッド） 修了式
2026年10月1日～2027年3月31日 （上記内の希望する期間）	産総研での研究（希望者のみ、最長6ヶ月）

産総研での研究を希望する場合、受入責任者（産総研研究者）
を見つけていただく必要があります。 受入責任者未定の方は、
領域・研究ユニット等のHPをご参照ください。

https://www.aist.go.jp/aist_j/information/organization/research_units/index.html

 エネルギー・環境領域	 生命工学領域
 情報・人間工学領域	 材料・化学領域
 エレクトロニクス・製造領域	 地質調査総合センター
 計量標準総合センター	 量子・AI融合技術ビジネス開発 グローバル研究センター
 実装研究センター	



次のサイトもご参照ください。

産総研：研究成果記事一覧

https://www.aist.go.jp/aist_j/list/l_research_research.html

産総研の研究者・研究内容を検索できます。



<つくば以外の地域拠点での技術研修をご希望の方向け>

産総研：研究拠点

https://www.aist.go.jp/aist_j/information/research_bases/index.html

各拠点の研究ユニット等を参照できます。



受入責任者が見つからない場合、事務局にて相談に応じます。
(マッチングの成立を保証するものではありません。)

**産総研で研究を実施せず、講義・演習のみ参加される場合は
事務局受入れで対応します。**

エントリー (Forms登録)

- ・産総研での研究を希望しているものの、受入責任者未定の方：
8月3日（月）14:00〆切
- ・産総研での研究を希望しない方・受入責任者が決まっている方：
8月17日（月）14:00〆切

事務局
より連絡

一次審査書類提出

エントリー後に届くメール
(様式等を添付)に従い、
書類を提出してください。

<一次審査で必要な書類>

- ① 履歴書
- ② 居住性等に関する確認書(*)
- ③ 自己アピール票
- ④ 所属大学の指導教員の承諾書(*)

事務局
より連絡

二次審査書類提出

<二次審査で必要な書類>

- ⑤ 技術研修申請書、学生教育研究災害傷害保険に加入していることを証する書面の写し
- ⑥ 産総研受入責任者の承諾書(*)
- ⑦ 誓約書(*)

合否通知

9月上旬予定

*は印刷・署名後pdf化
産総研で技術研修中の方は⑤不要

技術研修申請手続き

合格通知後、速やかに実施

公募サイトからエントリーしてください

https://unit.aist.go.jp/innhr/inn-s/DC_course/entry.html

エントリーフォーム

エントリー期限

お早目にエントリーください！

- ・産総研での研究を希望しているものの、受入責任者未定の方：

8月3日（月）14:00

- ・産総研での研究を希望しない方、受入責任者の決まっている方：

8月17日（月）14:00

研究基礎力育成コース（DCコース） 公募サイト

ホーム 研究基礎力育成コース（DCコース） > 公募サイト

DCコース公募概要

コース概要

講義・演習（オンライン）、産総研での研究（希望者のみ）等

主な応募資格

大学院生（修士・博士課程）、学部4年生（大学院進学予定の方）

採用人数

公募サイト



詳しくは公式ウェブサイトをご覧ください



社会を変える
研究者を志すあなたへ

求む！
大学院生

2026年度 産総研イノベーションスクール 研究基礎力育成コース

スクール生大募集

参加費無料

研究費支援あり

イノベーション スクール

産総研技術研修生
として受入れ

半年間のカリキュラム

産総研で研究

研究現場で最先端の研究を実施
他、ポスター発表、学会とのオンライン交流イベント等

講義・演習

2週間程度オンラインで実施
博士に必要となる研究スキル(プレゼン、論文執筆、予算申請)、
トランスファブルスキル、キャリア開発に関する内容

人的ネットワーク 形成



自立した研究者を 目指す



スケジュール



ピックアップ



大学在学中に起業！
株式会社
Nefront COOとして
活躍中
研究活動に役立つような実
践的なスキルが身につく研
修はもちろん、専門分野の異
なる背景の仲間と出会い、意
見を交えて交流できる点が
魅力です。
逸見 一喜さん
16期(2022年度)修了生

【募集対象者】大学院生(修士・博士課程・進学予定の学部4年生)
【内容】講義・演習:オンライン(10月19日(月)~23日(金):開講式、第1回講義・演習)
(11月16日(月)~20日(金):第2回講義・演習)
産総研での研究実施:受入れ研究者の拠点(希望者、契約締結後~2027年3月31日)
公募説明会(1時間) 6月15日(月)11:00~12:00/7月6日(月)11:00~12:00/7月27日(月)11:00~12:00
応募締め切り 2026年5月17日(月)14:00(産総研の受入れ研究者が決まっていない日は、5月18日14時/月)

産総研 若手研究人材育成事務局
https://univ.aist.go.jp/inhr/index.html
aist@univ-aist.go.jp

産総研 ともに挑む。つぎを創る。

公式ウェブサイト HP

いますぐアクセス!

公式ウェブサイト

産総研イノベーションスクール

検索



問合せ先

若手研究人材育成事務局
school-saiyou-ml@aist.go.jp

ご聴講ありがとうございました

質問がございましたら
手を挙げる、もしくは
チャットにご入力ください

問合先

若手研究人材育成事務局
school-saiyou-ml@aist.go.jp